

## 軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つきたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。（適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。）

## キャリア教育

義務教育卒業時につけたい力									
夢をもち、未来を切り拓く力									
・自ら学ぶ意欲と力をもつ子ども									
・互いを認め、自らを律することのできる子ども									
・地域のことを知り、将来、街づくりの主体者となれる子ども									
学年または学年区分ごとにめざす姿									
		・地域の人々に触れ、生活や特産物等に調べることで、その思いを知り、郷土愛をもつ。 ・課題解決のための計画を立てて、取り組むことができる。		・情報を収集し、それを整理しながら、計画的に課題解決に向かえる力をつける。 ・よりよい未来を実現するために、社会体験型の学習を積極的におこない、地域や社会にどのようにしたら、貢献したり参画したりすることができるのかを考えることができる。(社会貢献，社会参画を積極的に実践できる子どもの育成)		・3年間を通して、未来を拓く力，夢を実現させるための力として「自ら課題を見つけ，それを研究の材料として探究活動を進めて，課題を解決する力」「探究活動の中でインタビュー等やポスター形式の発表におけるやりとりの中で人とのかかわる力」「探究活動によって得た知識を，将来の自分の生活に活かすための，知識を活用する力」を身につける			
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）	
取組・活動									
＜伏見板橋小学校の取組＞ ・にこにこ会 ・あきといっしょに（幼小連携） ・防火コンサートや学習発表会リハーサルへ招待（保幼小連携）		・なかよし会 ・ぐんぐんそだて おおきくそだて	・いきいき食育チーム	・やさしさ発見 ・携帯電話教室	・環境学習	・京都の魅力をさがそう ・輝く自分プロジェクト	＜伏見中学校の取組＞ ・豆記者体験	・京都・伏見探究（地元を知る） ・チャレンジ体験	・京都と沖縄の比較（他地域との比較）
＜伏見住吉小学校の取組＞ ・区民運動会ダンス（保幼小接続）		・なかよしフェスティバル（保幼小接続）	・地域に住むお年寄り とふれ合う昔	・伏見の水に携わる人々	・見つけよう未来の自分	・環境学習 ・伝統文化体験			
＜下鳥羽小学校の取組＞ ・みんなのにこにこだいさくせん		・大すきいっぱいわたしのまち ・下鳥羽ふれあいカーニバル ※11月19日実施「下鳥羽ふれあいカーニバル」にて販売	・下鳥羽ふれあいカーニバル ※11月19日実施「下鳥羽ふれあいカーニバル」にて販売	・未来のわたしたちへ	・下鳥羽ふれあいカーニバル ※11月19日実施「下鳥羽ふれあいカーニバル」にて販売	・京都の魅力をさぐる			
＜伏見中学校区三小学校の取組＞			・二分の一成人式 ・モノづくりの殿堂	・エコライフチャレンジ（下鳥羽校は4年生で実施） ・スチューデントシティ学習					
＜中学校ブロックとしての取組＞		・地域について調べることで、伏見に知り、地域の人 がもつ伏見の誇りを感じさせることで、自分も地域の一員であることを自覚させる。 ・調べたことをまとめて、わかりやすく発表する力をつける		・地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きに触れ、伏見及び京都の歴史に対する理解を深めるとともに、郷土愛を深める ・体験活動を通して、生活と関連させることで、社会のしくみを知り、その社会において自らの生き方について考えさせる ・集めた情報から、必要なものを選択し、課題解決に向けてまとめ、プレゼンテーション等を使って発表する力をつける		・地域で働く方と接することで、「働く」意義について考える。 ・仕事に対して大人が持つ思いを学び、将来の生き方について考える。	・地元についての知識を深め、地域の魅力を発見する ・職業体験を通して、自らの将来の働き方を考える力を育成する	・他地域と比較することで、地元の良さを再確認する。 ・他地域の良いところをとりいれ、街づくりの主体者となれる力を育成する	
		堀川高校のSSHの実践指定を受け、小中が連携をしてポスター発表に取り組んでいる。各校において、教科や総合的な学習の時間などに探究活動を行うことで、課題を見つけ解決する力の育成を目指している。また、その研究結果を、ポスター発表という形式で発表し、まとめをすることによって、自らの考えを発信する力の育成も目指している。							

学びの約束・ルール

項 目	小 1 （1 年）	小 2 （2 年）	小 3 （3 年）	小 4 （4 年）	小 5 （5 年）	小 6 （6 年）	中 1 （7 年）	中 2 （8 年）	中 3 （9 年）
話し方・聞き方・読み方	<div> <div>                     (話し方) ①聞き手を見て話す。                      ②教室の一番遠くにいる人に届く声で話す。                      ③文で話す。                      ④理由をはっきりさせて話す。                 </div> <div>                     (聞き方) ①話し手の方に体を向けて聞く。                      ②うなずきながら聞く。                      ③自分の考えと比べながら聞く。                 </div> <div>                     (書き方) ①丁寧な字で書く。                      ②習った漢字を使って書く。                      ③書いたら読み返す。                 </div> </div> <div>                     ※全校をあげて取り組んでいる。                      ※学年が上がるにつれて、質を高めていくようにする。                      ※読み方については、各学年国語科の目標に準拠。                 </div>						・小学校で身につけた話形を基盤とし、自分の意見を明確にしながら話す。 ・相手の考えの要点を聞く。 ・書かれていることを正確に読み取る。	・相手意識を持ち、他者と自分の違いやつながりを考えながら、より良い関係作りを目指した話し方、聞き方を身につける。 ・書かれていることを読み取り自分の意見を持つ。	・より良い人間関係の構築を目指し、社会生活の中で活用できる話し方、聞き方を身につける。 ・正確な読みとりのもと、自分の考えを広げ、社会生活の中に活かそうとする。
ノートづくり	<div>                     (ノートづくりの取組)                     <div>                         ① 単元の学習問題や学習課題を書き、青の枠で囲む。                          ② 「めあて」を書き、赤の枠で囲む。                          ③ 「ふり返し」を書いて、学習のまとめをする。                          ④ 調べたことは、教科書や資料の内容をノートにそのまま写さず、自分の言葉で書くようにする。                          ⑤ ナンバリングをするなどして、考えを分かりやすくまとめるようにする。                          ⑥ 話型や関係図、矢印、吹き出しなどを使って、考えを深めるようにする。                          ⑦ 「わかったこと」とそこから「考えたこと」を分けて書くようにする。                     </div> <div>                         ※学年が上がるにつれて、質を高めていくようにする。                          ※自主学習ノートでも、「めあて」と「ふりかえり」を書くようにする。                     </div> </div>						・学習内容を整理して復習に活用できるノート・ワークシートを作る。 ・自分の考えや振り返りを書き込む。	・学習内容を整理して復習に活用できるノート・ワークシートを作る。 ・学習のポイントまとめ、板書の写し以外の授業メモ、自分の考え、仲間の考えなどを書き込み、学習の跡、思考の流れが整理されたノート・ワークシート作りをする。	
授業に向かう姿勢	<div>                     (準備) ①学習が始まる前に教科書やノートなどを机の上に出しておく。                      ②ベル着の徹底。                 </div> <div>                     (けじめ) ①授業前と授業後のあいさつをする。                      ②話す人が立ったら、すぐに話を聞こうとする。                 </div> <div>                     (姿勢) ①丁寧な言葉遣いで話し、みんなが気持ちよく学べるようにする。                      ②分からないことは、質問したり、調べたりして解決する。                      ③友達との学び合いを大切にする。                 </div>						・授業規律を確立し、授業中の 聞 く 場 面・考える場面・表現する場面のけじめをつけ、仲間との学び合いを大切にする。	・主体的に授業に臨み、自分の考えを確立しながら仲間と協働的に学ぶ姿勢を身につける。	・自らの進路展望を持って学習し、将来の社会生活の中で生きる学力を身につけるべく、主体的、協働的に深く学ぼうとする。